

※写真は当所で撮影したもの

施設名	永山橋（ながやまばし）		 						
所在地	熊本県 菊池市大字原永山地区								
管理者等	菊池市								
施設種類・分野	河川	橋							
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>菊池渓谷入口の菊池市大字原永山地区にあり、肥後と豊前を結ぶ重要な道に明治11年(1898)に名工橋本勘五郎によって菊池川に架けられたもので、全長61m、幅4.6mの単アーチ橋です。この橋は、当初勘五郎が文政6年(1823)に架けたものの洪水で流失したため、130m程上流に再建されたもので、丸型の高欄、擬宝珠柱など勘五郎の特長がよく残っています。明治初期までの石橋には、木造の名残として丸い擬宝珠の欄干や親柱のある石橋がありますが、この橋も木造橋の名残を残している学術的に貴重な橋です。〈主に菊池観光協会より引用〉</p>								
築造時期	明治初期		時期詳細	明治11年完成					
関連人物	石工棟梁は、肥後の名工 橋本勘五郎(のち小坂姓)								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	<p>石工棟梁は種山村(現八代市東陽町)の石工、橋本勘五郎である。この永山橋は架橋当時のままの形が残っており、欄干の形状に特徴があると言われる。勘五郎は明治4年に東京に召され、皇居の二重橋を始め江戸橋、万世橋、浅草橋等の眼鏡橋を架設している。兄は通潤橋(菊池市上益城村山都町)を架設した石工棟梁橋本宇一であり、弟の勘五郎は副棟梁として従事したとの説あり。</p>								
歴史的な遺産等の指定の有無等	—	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
	その他の指定・認定		熊本県指定 有形文化財						
その他 (関連資料、文献)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般財団法人九州地域づくり協会</li> <li>・菊池観光協会</li> </ul>								
管理者等のHP (URL等)									